

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
L206	都市と農業	2年	講義	2	安藤哲
授業概要 人間が生き続けるには、太陽活動に由来するエネルギーを不断に獲得することが欠かせません。必要なエネルギー量は、基礎代謝と活動エネルギーの総和です。このエネルギー(有機物を)、我々は食や食料と呼んでいます。有機物は葉緑体を持つ植物などが光合成で産出しますが、自然の営みとされています。農は、人間に有用なように自然の営みを管理する概念といえます。この管理の行為を農、有機物を食、経済関係を農業と認識しています。本授業は、このような農や食や農業を人間の視点から多様に検討して、人間と人間社会の理解を深めていきます					
到達目標(学習の成果) 都市の生活が、農村や風土、農と食と農業に支えられている関係を知り、都市の生活が安定して持続するために必要な、農と食と農業の課題を発見できる力が養える					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	農とはなんだろう①	人間は食物連鎖に位置付く生物であるという意味を再確認し、また履修者の基礎知識を確認する			
2	農とはなんだろう②	農はエネルギーを生産(物質化)しているという認識			
3	食の生産と消費の歴史①	人間の食と食生産のあり方は風土の特性が反映する			
4	食の生産と消費の歴史②	ヨーロッパ社会の食生産の特性と風土と文化			
5	食の生産と消費の歴史③	飼料がなければ穀物生産が持続できないという文化			
6	食の生産と消費の歴史④	日本の食生産の特性と風土と文化、千年連作可能な文化			
7	食の獲得と人間の働き①	人間にできることは限られているということ			
8	食の獲得と人間の働き②	日本の風土特性を生かした Sustainable な仕組みの模索			
9	食と暮らしをめぐる古典に学ぶ①	人間にとって食とはなんだろう			
10	食と暮らしをめぐる古典に学ぶ②	ケネーからリカードへ、経済学が生まれる			
11	食と暮らしをめぐる古典に学ぶ③	リービヒの功績と近代都市社会の成立			
12	農業と市場メカニズム①	農業の産業としての位置を確認しよう			
13	農業と市場メカニズム②	農業における外部経済は広大であること			
14	農業と市場メカニズム③	農産物の価値と多面的機能の現代的意義			
15	農業と市場メカニズム④	農業と貿易の市場理論の目的と有効性について			

準備学修(授業外の自己学修)

- 1 毎授業時に配布する資料をよく読み、不明な点を調べ、次授業での質問に答えられるようにする
- 2 授業中にとりあげる用語は、調べ直しを通して深く理解しておくこと

成績評価の方法・基準(%表記)

期末テスト(100%)

観点	S	A	B	C
都市と農業の関係がわかる	関係がわかる	関係がほぼわかる	関係が十分にわかる	関係が一定程度わかる
都市と農業が持続するための課題がわかる	課題がわかる	課題がほぼわかる	課題が十分にわかる	課題が一定程度わかる

教科書

使用しない

参考書等

毎授業時に資料を配布する

履修上の注意・学修支援

授業内容は相互に関連するので欠席しないよう心がける、座席は任意ですが固定します

なお、準備学修や復習を通して生れた疑問や理解できないことについては、授業後質問すること